

# 明日にきらめけ 35

深伊沢小・6年通信 NO. 25 2011/12/05

## 何かを体で表すのはとても楽しい ポーズや表情で気持ちが分かった じっくり観察するのも大事だ

11/30「ことばとからだ」の学習



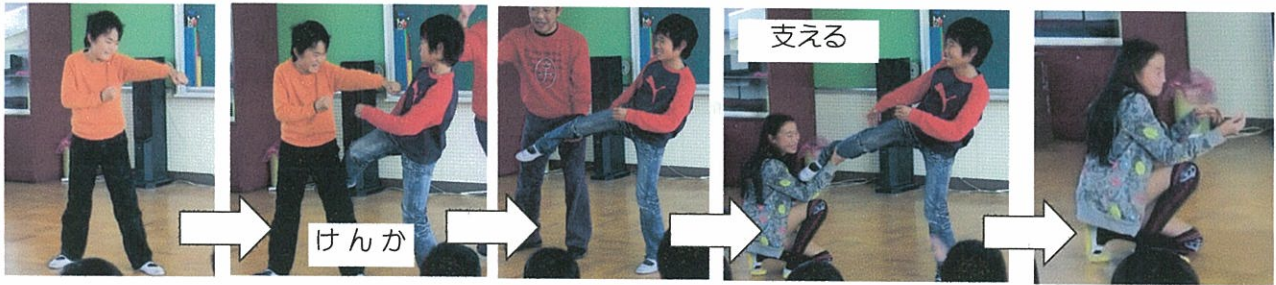
(写真:「自分彫刻」=自分が思い浮かべた感情や状態を表す言葉に合うポーズをつくって固まります。)

### ○ 自分彫刻

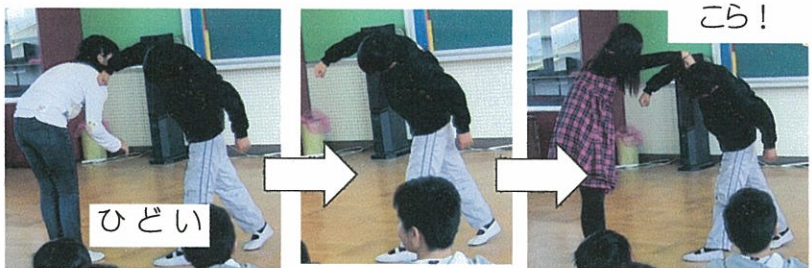
- ・ みんないろんな気持ちを体で表していたけど、同じ気持ちで表し方が違ったりしておもしろかった。
- ・ 個人の間彫刻は、ポーズや表情で気持ちが分かったのが本当におもしろかったです。
- ・ 自分が何かの気持ちを表す彫刻になるというのをして、感情を体で表現するのは少し難しく感じた。一つの形でもいろいろな感情が表せるから、自分の思っていることの逆を感じられたりする。でも、何かを体で表すのはとても楽しいことだ。
- ・ ぼくは嬉しい時のポーズをして、みんなは悲しい時だと思っていたから、見方によって違うんだなと思いました。
- ・ ぼくは土下座をしました。みんなは「ごめんなさい」と予想したけど、実は「ようお越しくださいました」でした。
- ・ テーマが分かりやすいポーズもあれば、分かりにくいポーズ、「ああ!」と納得してしまうポーズ、などがあって楽しかった。
- ・ みんなのポーズを見ていると、おもしろいポーズとかしていたのすごいなと思いました。ぼくも、おもしろいポーズをしていきたいな。
- ・ 他の先生達が見ていたりして、ちょっと恥ずかしかったけど、すごく楽しかったから、またやってみたいです。

## ○ 35人がつながる即興オブジェ

相手のポーズをよく見て、即興で自分が思い描いたポーズを付け加えて二人彫刻をつくります。相談はしません。これを繰り返して、次々と交代して二人彫刻をつくっていきます。

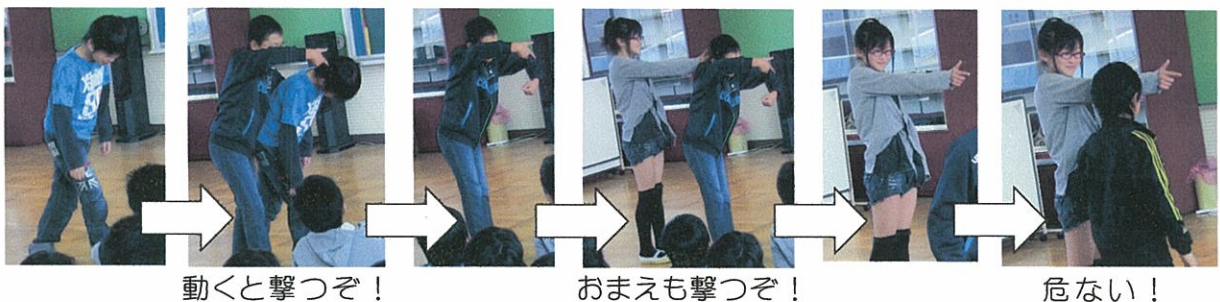


出来上がった二人彫刻に、見ているみんなで題(タイトル)を付けていきました。上の写真では、タイトルが「けんか」→「支える」→「友だち」→「だいじょうぶ?」→「ひどい」→「こら!」と変わっていきました。



彫刻に合わせて、言葉もつながっていきます。「けんか」「支える」「友だち」「だいじょうぶ?」「ひどい」「こら!」と、偶然ですが、まるである日の一場面のように言葉がつながっていきました。

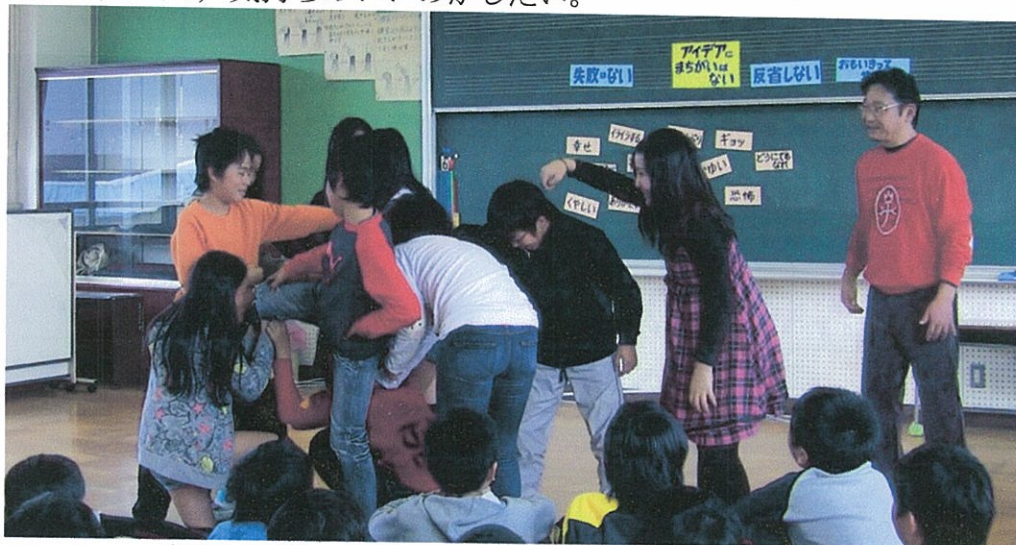
下の写真を見てみましょう。こんな場面もありました。「頭突き」→「動くとき撃つぞ!」→「おまえも撃つぞ!」→「危ない!」。刑事ドラマのワンシーンのようでした。



- ・ 前の人のポーズに合った形を自分で作るのは難しかったけれど、おもしろかったです。
- ・ 何をしようか迷ったけど、思いつきでやって、自分なりにはいい仕上がりになった。
- ・ ぼくは「ボクシング」のつもりだったけど、みんなは「兄弟げんか」とか言っていておもしろかった。
- ・ どうしようと思ったけど、Aさんがいいポーズをしていたので、そこをくっつけようと思いました。

- みんなのいろいろなアイデアがおもしろかった。
- 体を使って気持ちを表現することをやって、難しかったけど楽しかったです。二人ペアの彫刻にいろんなタイトルがいっぱい付けられるように、じっくり観察するのも大事だと思いました。
- どんなんかを答えて、いろいろな言葉が出てきておもしろかった。
- 他の子のを見ていて一番よかったと思うのは、「支える」という題名。前の子は暴力的だったけど、そこから「支える」っていうことをパッと考えてできるのはすごいな。またやる時は、暴力的なことじゃなくて、気持ちのいいのがしたい。

• どんな形を組み合わせるのか迷ったけど、つなげていくとおもしろかった。



• 35人でしているから、一人でも欠けていたら完成しない。

• みんなでひ

(写真:最後に、おさらい。一番始めからどんどん彫刻をつなげていきます。)

とつの物が完成した時にすごいとも思ったけど、嬉しさと楽しさもありました。

- きつかったけど、完成した時のうれしさが忘れられない。
- 全部つながったのを見たらおもしろかったです。
- 一つの物語を作っているみたいで楽しかった。もっと多くの人でやったら、よりおもしろいだろうな。



(写真:20人ぐらいがつながっています。最終的には35人みんながつながった一つのオブジェが完成しました。)

---

# もっともっと友だちをふやして楽しい中学校生活を送りたい 4ヶ月後の中学校生活が楽しみでしかたありません

12/2（金）子どもフォーラム鈴峰

---

- まず、深小出身の美里さんと鈴西小出身の美月さんが担当で、中学校見学をしました。初めて中学校に入った私には、まるで迷路。でも、新しい発見や小学校にはない部屋があって、中学校へ行くのがとても楽しみになりました。
- 最初の作文発表は、今までぼくが考えもしないことや、確かにと思うことばかりでした。最初の子の「肌の色がちがうだけで」という作文が一番心に残って、ぼくも「確かに」と思ったから、そういう子を見かけたら声をかけるだけでも知れないけど気を付けてあげたいです。
- 作文を聞いた時、東日本のことがあって、その場所には行けないけど自分に何ができるというのは本当だなと思いました。
- この学校も人権のことについてよく考えているし、まず自分からしようという決意が強いんだなあとと思った。
- 作文発表があって、いろいろと自分にはできていなかったことに気付かされたり学んだりすることができました。
- グループで〇×ゲームをしたりして、少しずつきんちょうがほぐれてしゃべれるようになってきた。しゃべれるようになると、友だちもできたからうれしかった。
- みんなで答えを出し合ったり、話し合ったりして、みんなで考えたのがすごく楽しくて、答えが間違ったりしていたけれど、みんなで協力して答えを出したのが本当に楽しかったです。
- ドッチボールではとても盛り上がり、椿はとてもボールを速く投げられるのでびっくりした。椿には負けてしまいくやしかったけど、こんな強い相手と勝負できたのでとても楽しかった。
- 閉会式の時、椿、庄内、鈴西、深小の会長が前に出て、今日の子どもフォーラムの感想を言っていて、「みんな、ちゃんとした会長やなあ」と思いました。
- このフォーラムをきっかけに、中学の不安が少しやわらいだし、中学が楽しみになってきた。
- あと4ヶ月後に一緒に授業を受けることも楽しみだし、お互い助け合いながら一緒にがんばっていきたいと思います。
- いろんな学校と交流できたし、友だちができたのでよかった。来年の4月がとても待ち遠しくなった。
- 中学になるまでに、少しでも友だちになれてうれしかった。中学校になって、もっともっと友だちをふやして仲良くなっていきたいと思った。
- 中学に行ったら、また違う仲間と一緒に生活できるから、とても楽しみだな。
- 4月からいっしょに勉強や部活をするので楽しみにしています。もっともっと友だちをふやして、楽しい中学校生活を送りたいし、がんばりたいです。
- 子どもフォーラムで分かったことは、みんながやさしいということです。4ヶ月後の中学校生活が楽しみでしかたありません。早く中学生になりたいです。